

国際ロータリー第2680地区

2023-24年度 第7回 戦略計画委員会 議事録

日時 : 2024年2月16日(金) 16:00~18:00

場所 : レンタルスペースジェム神戸元町

参加者 : 安行英文ガバナー(三田)、矢坂誠徳ガバナーエレクト(神戸西)、白井務子ガバナーノミニー・デジグネート(姫路東)、若林学代表幹事(三田)、山口宰次期代表幹事(神戸西)、天羽公夫クラブ管理運営委員長(甲子園)、高瀬英夫委員長(西脇)、矢野宗司副委員長(加古川中央)、神谷誠治(尼崎中)、永瀬隆一(芦屋川)、竹原善記(宝塚)、古川彰治(宝塚)、山本裕計(神戸東)、和田孫博(神戸東灘)、樋口典明(明石東)、西山孝彦(西脇)、岡田和也(姫路西)、阪本渚子(宝塚ユニバース衛星)

議事録作成: 阪本渚子

次第

1. 開会挨拶 安行ガバナー
2. 白井デジグネート自己紹介 白井ガバナーノミニー・デジグネート
3. 地区チーム研修セミナーについて 高瀬委員長

(1) セミナーの狙いと戦略計画委員会への要望 矢坂ガバナーエレクト

次年度ガバナー行動指針: All 2680 Rotarians 一致団結して Heartwarming Rotary

サブテーマ: 心から心へのメッセージ 手に手つないでロータリーのマジックを実践しよう!

次年度の地区運営も地区の行動計画に従って行う予定。戦略計画委員会は「行動計画委員会」に名前を変更する。行動計画委員会には国際ロータリーの行動計画及び地区の行動計画の理解推進とともに、クラブの行動計画委員会の設置を推進し、活動を支援することを要望する。

アーチック RI 会長エレクトはただただ魅力的なクラブを作り出し、クラブに対しての帰属性、思いを強くしてもらおう観点からお話をされている。地区の全員で色々考えながら進んでいく。地区の方針としては、RI 会長の方針の理解と実践、ロータリーファミリーへの愛を大きくする、地区のメンバーが一丸となって良いロータリークラブを

作り出す行動計画の推進者の一員となって頂くことをお願いしたい。改革、革新をはぐくみ、クラブのリーダーを支援する体制を作り出す。クラブのリーダーはただただ魅力的な経験をクラブメンバーに与えるために導く。これに関して DEI を使っているいろいろな会員の持続性を高めていく。そのような形のをひたすらにやることによってロータリーのイメージや雰囲気も変わっていくのではないか。

各地区委員会にセミナー開催は推奨していない。セミナーを開催する場合は必ずラーニング委員会に届け出をして頂き、ラーニング委員会にセミナーの対応や計画主意書、予算案等を出して頂き、ラーニング委員会の承認のもとでセミナーをして頂く。委員会独自でセミナーをして頂くことは禁止とする。

ガバナー補佐は IM を色々な観点から講師を選んでいるが、次年度は一貫性を持った IM にして頂く。グループの皆さんが集まっている IM の場で、今の RI や地区の方向性を伝える時間を設けて頂きたい。そうすることでクラブに活性化が生まれると思う。

各委員会同士の横を繋がりにはラーニング委員会に各委員長が委員として参加して頂き、その中で色々協調することと、他の委員会の補足をして頂きたい。その要としてラーニング委員会と行動計画委員会が動いて頂けるとありがたい。

(2) 戦略計画委員会の発表骨子 高瀬委員長

- ・ 矢野副委員長より、先日の淡路グループ IM での講演内容の紹介。(※別紙資料参照)
- ・ 高瀬委員長より、戦略計画委員会の発表内容の紹介。(※別紙資料参照)

(3) 上記につき意見交換

(矢野) 高瀬委員長の資料の最初に地区ビジョンを付け加えること。

(天羽) アンケートの回答について、戦略計画を立てているクラブが 50%に達していても、クラブが活性化していればよいという考えなのか。未回答のクラブも含めてもう一度声掛けをしてみてもどうか。クラブ管理運営委員会としてどのようなフォローが出来るか。

→クラブによって温度差があることも事実。クラブの特色があるため、クラブ戦略が出来ていないところもクラブの個性として受け入れていくべき。

→親睦と奉仕がメインで、例会出席率も高く、クラブを楽しく感じている会員もいる。それを多様性と受け入れるべきなのか。

→アンケートの回答結果を見ると、「これから作成予定」が大半のため、待ってみるということも必要。併せてガバナーから、いろんな場所で呼びかけをして頂くことが大切。

→クラブのやり方自身がそのクラブの行動計画である。ビジョンや戦略はハードルの高いクラブもあるのではないか。「行動計画」というほうがどのようなクラブにも

受け入れやすいのではないかと。難しいことを簡単に伝える意識はしておいたほうがいい。

(和田) クラブでビジョンを作成してみて、戦略計画が行動計画であるということが分かった。クラブで何をするかを話し合うことがまさに行動計画。

(高瀬) 地区としては各クラブに刺激を与えて、投げかけをして、最終的にはクラブで選択をしてもらう。考えてもらうためには、分かりやすく伝えることが重要。

(矢野) 最初は「戦略」という言葉は日本人にとって抵抗があるため、「長期計画委員会」であった。しかし、やはりおかしいので「戦略計画委員会」という名前になった経緯がある。

(矢坂) 地区の委員会は各クラブをサポートするための委員会なので、各クラブのいろんな状況や動きを考え、把握したうえでどのように各クラブにアピールするかを考えて支援するかを考えて頂きたい。

(矢坂) 地区委員会については次年度7月から名前を変更予定。各クラブの委員会はすぐに変更することは難しいと思うが、地区チームセミナー、PETS、SETS では話をする予定。

4. 今後の委員会開催日日程と議題について 永瀬幹事
2024年3月22日(金) 16:00～

5. その他

- ・座禅会について 矢坂ガバナーエレクトより、姫路市の網干で開催することをご提案頂く。
- ・ロータリーの友Q&Aコーナーの質問募集中。ロータリーの会員がロータリーのことを質問して、担当者が答える形式。

6. 閉会挨拶 若林代表幹事